

仕様書

新エネルギー部

1. 件名

浮体式洋上風力発電低コスト化技術開発に関する調査

2. 目的

我が国の厳しい気象・海象条件の中で、洋上風力発電の導入拡大を実現するには、浮体式洋上風力発電の導入が必須であり、そのためには一層の発電コストの低減が求められています。

本事業では、以下のとおり、洋上風力発電の低コスト化技術開発のロードマップを作成するとともに、欧州で行われている Joint Industry Project (JIP) 方式*による技術開発について検討します。

* Joint Industry Project (JIP) 方式：発電事業者を主体とした協議会を組成し、複数の民間事業者から開発資金を拠出する形の技術開発事業のこと。

3. 内容

(1) 洋上風力発電システムの低コスト化技術開発ロードマップの策定

浮体式洋上風力発電を含む洋上風力発電の低コスト化に資する技術課題および有望技術の抽出・整理を行い、それらの課題を解決するための、技術開発ロードマップを作成します。ロードマップ作成にあたっての留意点は以下のとおり。

(ア) 課題については、「着床式」「浮体式」を区別して作成します。

(イ) ロードマップの策定にあたっては、有識者による委員会を組成し、検討の上取りまとめます（提案書に委員案を記載すること）。

(ウ) 2021年3月中旬を目途に中間報告書を提出すること（内容については、NEDO 担当者と協議の上決定します）。

(2) Joint Industry Project (JIP) 方式による低コスト化技術開発についての検討。

(1) で策定するロードマップで抽出された有望技術等を踏まえ、浮体式洋上風力発電を対象とした、JIP 方式による低コスト化技術開発について詳細に検討します。

なお、検討にあたっては、発電事業者を主体とした協議会を組成するなど、我が国に適した JIP 方式の検討、課題抽出も併せて行うこと。

4. 調査期間

NEDOが指定する日（2020年度）から2022年3月20日までの2年間

5. 事業形態

調査委託（NEDO 負担率：100%）

6. 予算額

総額：3 億円以内、うち 2020 年度は 1 億円以内

（採択予定件数：1 件）

7. 報告書

提出期限及び提出部数：

2020 年度終了時には、中間年報の電子ファイル（PDF ファイル形式）を、
2021 年度終了後には成果報告書の電子ファイル（PDF ファイル形式）を
CD-R 等の不揮発性媒体に記録し、1 枚を所定の期日までに提出。

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_tebiki_index.html

※報告書の仕様については、別途指示することがある。

8. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上